

Together

Shukutoku University Magazine
No.246 | 2025.4.1

学長メッセージ

新入生のみなさんへ

特集

総合福祉学部 社会福祉学科に

「社会福祉コース」

「福祉教職コース」が誕生!

淑徳人 No.241 Interview

変化する教育現場で

自分の強みを磨いていく

ウィズ・ユー ゼミ紹介

学生の興味を起点に、
コミュニケーションを促進する

ウィズ・ユー 在学生紹介

異国の地で支えられた経験を
管理栄養士として未来につなぎたい

ともいきのこころ

学祖・長谷川良信先生の足跡

SHUKUTOKU TOPICS

CAMPUS NEWS



新しい第一歩を

淑徳大学 学長
山口 光治



淑徳大学

共に歩む これまでも これからも

新入生の皆さん、保証人の皆様、ご入学まことにおめでとうございます。

ようこそ淑徳大学へ。

心よりお祝い申し上げます。

大学・大学院、そして別科の学びの場を、ここ淑徳大学に定められたご縁に感謝し、あなたが成長したいと願い、主体的に学び、行動する限り、私たち教職員はそれをしっかりと応援します。

本学は今年、創立60周年という節目の年を迎えました。この歴史ある伝統の中で、皆さんをお迎えできることを大変嬉しく思います。

本学での学びを通して、「建学の精神…利他共生」（「他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」と「大学の歩み」を理解し、社会人となっていくための基礎力や各学科・研究科の専門的知識・技能等を身につけ、さらに、サークルやボランティア活動などを通して、自分の生き方を探求していきましょう。

大学生活は、高校までとは異なり、自己の探求と成長の場です。専門的な知識の修得はもちろんのこと、多様な価値観を持つ人々との出会いや、未知の分野への挑戦など、無限の可能性が広がっています。この環境を最大限に活用し、自らの視野を広げてください。

期待と同時に不安も伴うものです。学業や人間関係、将来の進路など、様々な課題に直面することもあるでしょう。そのような時にこそ、周りの仲間や教職員、そして家族の支えを大切にしてください。本学の教職員一同、皆さんの成長を全力でサポートいたします。

また、創立60周年を迎える本学の歴史を振り返ると、多くの先輩方がそれぞれの分野で活躍し、社会に貢献しています。皆さんもこの伝統を受け継ぎ、未来への一歩を踏み出したいと願っております。現在、本学は、千葉埼玉東京の4つのキャンパスに7学部13学科、2研究科、そして留学生別科を擁しています。在学中に、異なるキャンパスの学生と交流する機会もあると思います。他者との出会いを生かしながら、自分の興味や関心を深めるとともに、あなたにしか出来ないことへ挑戦していきましょう。その経験が、皆さんの人生を豊かにし、社会に貢献する力となるでしょう。

最後に、皆さんの未来が希望に満ち溢れ、輝かしいものとなりますよう、お祈り申し上げます。

改めて、ご入学おめでとうございます。共に本学の新たな歴史を築いていきましょう。

新入生のみなさんへ 各学部長のご紹介



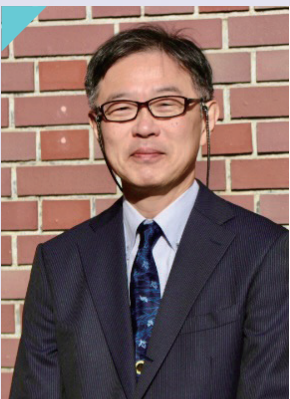
経営学部
学部長
千葉 千枝子



コミュニティ
政策学部
学部長
芹澤 高斉



地域創生学部
学部長
矢尾板 俊平



教育学部
学部長
松原 健司



総合福祉学部
学部長
千葉 浩彦



人文学部
学部長
小川 博章



看護栄養学部
学部長
林 雅晴

総合福祉学部 社会福祉学科に

「社会福祉コース」「福祉教職コース」が誕生！

知識と福祉マインドを持って幅広い分野で活躍する人材へ

これまでの社会福祉学科のカリキュラムを引き継いだ「社会福祉コース」に加え、新たに「福祉教職コース」が誕生しました。「福祉教職コース」は、社会福祉士十小学校教諭の同時取得を目指すカリキュラムとなっており、これは国内初となります。

社会福祉コース（定員150名）

【特長】

社会福祉の実践分野で高い専門性（国家資格）を持ち、福祉や医療現場で働く職業人の養成

【取得可能な資格】

- ・社会福祉士国家試験受験資格
- ・精神保健福祉士国家試験受験資格
- ・スクールソーシャルワーカー資格など



福祉教職コース（定員50名）

【特長】

福祉の知識を持ち教育現場の問題解決を図る教師の養成。4年間で、社会福祉士十小学校教諭の同時取得が可能

【取得可能な資格】

- ・社会福祉士国家試験受験資格
- ・小学校教諭二種免許状など



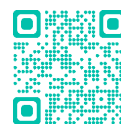
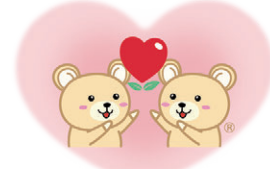
最近では、不登校やさまざまな背景を持つ子どもたち、多様な問題を抱える家庭が増えており、教育現場における早期の対応が求められています。

福祉の知識を持った教員がいれば、子どもたちの悩みや問題に気づきやすく、校内だけでなく、校外の専門家と連携してサポートすることができるよう、学校全体の教育の質を高めることが期待できます。

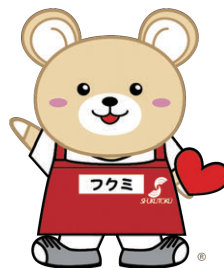
「福祉教職コース」では、理論と実践を融合した教員養成を目指し、淑徳大学の福祉の伝統を守りつつ、新たな教育を展開してまいります。

こども家庭ソーシャルワーカーの研修を行います

こども家庭ソーシャルワーカーは、実務者の専門性向上を目的として2024年度から設立された認定資格です。淑徳大学では、こども家庭ソーシャルワーカー認定研修の受講要件に対応した研修を開講します。研修内容は公的なカリキュラムに基づきつつ、「他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」という建学の精神と「実学教育」のもと、淑徳大学ならではの要素を組み込んだ構成となっています。



詳細はコチラ



淑徳人
No.241
Shukutoku OB&OG
Interview

松伏町立松伏第二小学校 教諭

田村 浩基さん

Hiroki Tamura
教育学部 初等教育学科（現 こども教育学科）
2017年卒

子どもが夢中になれる授業をつくるため、学びを止めない

小学校教員として働き始めて4年目に「総合的な学習の時間」の研究授業を担当し、子どもが夢中になって取り組める授業の大切さに改めて気づかされました。教科書がない「総合」の授業では、子ども自身が社会参画し、課題を解決することを目標にしています。何をやりたいか子どもの意見を汲むのが難しく、教員として授業づくりの力や知識も試されるのですが、一度走り始めると想像以上の領域にまで子どもたちの学びが広がっていく面白さがあります。

例えば、農業体験をきっかけに米作りの大変さを知り、自分たちができることは給食を残さないことだと考えた子どもたちは、全校を対象に、おかずごとの残飯量の違いを調査したり、ポイント制を取り入れて楽しみながら残さない工夫をしたりと、驚くようなアイデアを次々と出してきました。子どもたち自身で考え、力を発揮する姿を見ると、この仕事をやってよかったと感じます。

私自身も研究授業を機に改めて勉強し、さまざまな取り組みを実践し始めたところ、実践発表や事例集の執筆など思いがけないチャンスをいただくようになりました。次第に「総合」の歴史や実践のための理論なども追求したいと思うようになり、長期研修を目指すことを決意しました。

豊富な実習や手厚い指導がモチベーション維持につながった

淑徳大学での4年間は、教職員の方々がとても熱心に指導してくださったおかげで、教師になりたいという夢を追いかけ続けることができました。特に、1年次から教育現場でフィールドワークを行ったことは、大きな力につながったと思います。実習先の小学校で継続的にボランティアもさせてもらえることになり、現場のイメージを描きながら講義を受けることで、より理解が深まりました。

ゼミの先生とは卒業後も連絡を取り、近況報告や情報交換をしています。恩師との出会いや、小規模ゆえに築けた温かな人間関係などすべてが今の私につながっています。「経験」の豊かさが、教員としての豊かさです。学生みなさんは、今だからできることや好きなことを、とことん追求してください。



経験の豊かさが、教員としての豊かさ

変化する教育現場で

自分の強みを磨いていく



人々の笑顔や温かさに触れ、人としてのあり方を考えた。

留学を真剣に考え始めたのは2年次になってからです。大学生活は充実していましたが、授業や課題、アルバイトに追われて1年があっという間に過ぎ、何か新しいことに挑戦したいという思いが強くなりました。そ



ここで、以前から興味があった留学に踏み切ることにしたのです。

最初の留学先のフィリピンで印象に残っているのは、語学学校の先生をはじめ現地の人々が、どんなときも笑顔で楽しそうだったこと。スーパーやコンビニの店員が踊りながら品出しをするなど、日本では考えられない光景に驚きを感じました。また、次の留学先のマルタ共和国では、たくさんの人に助けられました。特に、入国してすぐに知り合ったマルタ人の友人は「挑戦する若者を応援したい」と、ことあるごとに口にし、国内の名所やおすすめのレストランに連れて行ってくれたり、多様な国籍の人々を紹介してくれたり、貴重な体験をさせてくれ、人としてのあり方を教わりました。

留学先： フィリピン・セブ(SMEAG校)／4週間 マルタ共和国(ESE)／8カ月

看護栄養学部 栄養学科 3年
猪間 峰歩さん

自己紹介やYes・Noの意思表示ができるほどの英語力で渡航。約9カ月間の留学を経て、海外一人旅や英語でのプレゼンテーションができるまでに英語力が向上した。



英語でのコミュニケーション力や、日本語が困難な方の食のサポートに役立てたい

留学を通じてもちも成長したのは、興味のあることややりたいことに積極的にチャレンジする行動力です。海外のレストラン運営に興味があったので、英語で履歴書を作成し、3日間、マルタにある日本食レストランでアルバイトをしたり、日本語も英語も通じない国の友人に会いに行き、友人家族と親睦を深めたりと、留学前よりアクティブになったと感じます。

将来は、管理栄養士として病院で働き、留学で身につけた語学力を活かして日本語でのコミュニケーションが難しい患者さんをサポートしたいと考えています。また、留学中にたくさんの人に支えられたので、次は私にできる形で助けが必要な人を支えていきたいです。



在学生 Student introduction 紹介

「留学体験談」 異国の地で支えられた経験を 管理栄養士として未来につなぎたい

国際交流センターからの お知らせ

1 英語・異文化研修

「英語・異文化研修」は、夏期カナダ(4週間)、春期オーストラリア(4週間)で、英語の集中授業、ホームステイ、地元の文化や自然を満喫できる研修内容で語学力とコミュニケーション能力を高める研修内容です。参加者には補助金による支援制度があります。

2 スタディツアー

「スタディツアー」は、英語圏に限らずその国ならではの環境の中で、ボランティアや教育視察等の貴重な経験を通して自己の見聞を広げ、将来に活かすことを目的とした5-7日間の研修です。参加にあたり、渡航先の語学力は必要ありません。

3 長期留学

「長期留学」は、在学中に半期や1年ほどの期間、海外でじっくりと学びたいという方に対して個別で相談に応じています。

国際交流センターでは、学生の皆さんのニーズに合わせて、多様な海外研修や留学を提供しています。

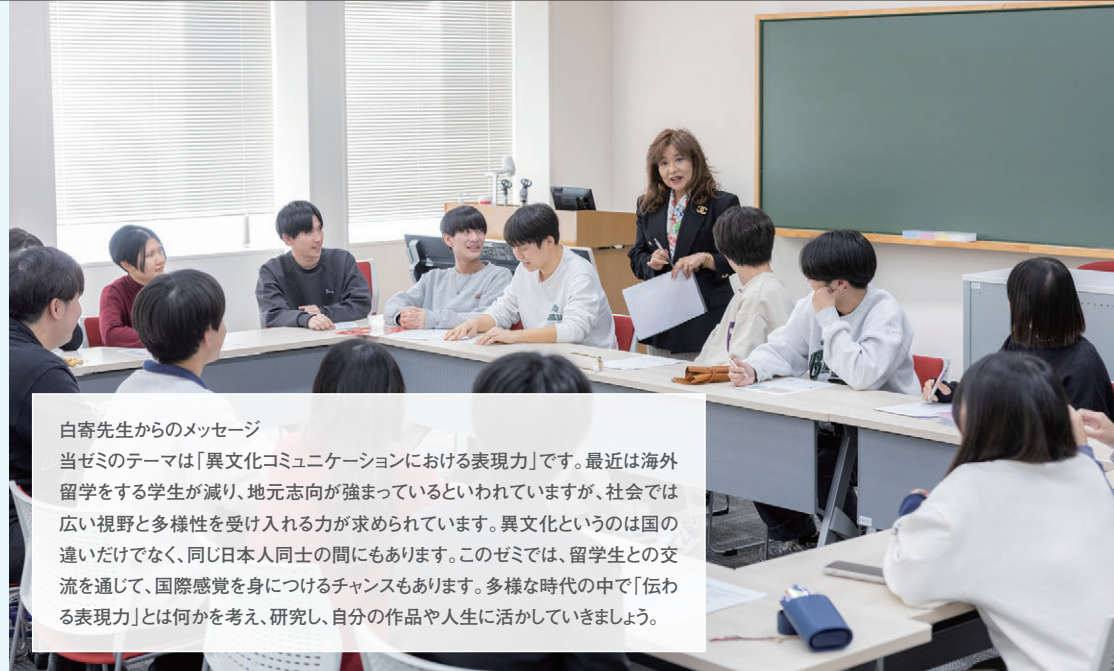


どの海外研修も学生の皆さんが安心して参加できるよう、国際交流センターでは、渡航前からのオリエンテーションを始め丁寧にサポートしていますので、海外渡航が初めてという方も安心して参加できます。在学中に、海外研修や留学をお考えの方、まずは話だけでも聞いてみたいという学生の方など、お気軽に国際交流センターへお問い合わせ下さい。プログラムの詳細や説明会実施のお知らせは、S-Naviでも随時ご案内していますので、ぜひチェックして下さい。

お問い合わせ先

国際交流センター 東京キャンパス7号館1階
メールアドレス：kokusai@daijo.shukutoku.ac.jp
電話：03-5918-8253

ゼミ Seminar introduction 紹介



白寄先生からのメッセージ

当ゼミのテーマは「異文化コミュニケーションにおける表現力」です。最近では海外留学をする学生が減り、地元志向が強まっているといわれていますが、社会では広い視野と多様性を受け入れる力が求められています。異文化というのは国の違いだけでなく、同じ日本人同士の間にもあります。このゼミでは、留学生との交流を通じて、国際感覚を身につけるチャンスもあります。多様な時代の中で「伝える表現力」とは何かを考え、研究し、自分の作品や人生に活かしていきたいでしょう。

「松本さん」自分のアイデアがポスターという形になり、多くの人に配布するという貴重な経験ができました。伝えたいメッセージを最後にすると効果的であることも学びました。

「安田さん」多くの人の目に触れるものを作るのは初めてで、ゼミ仲間の意見も聞きながら調整しました。今回の経験は、将来を考えるきっかけになりました。



【作画】
人文学部 表現学科 3年
安田 好誠さん

【原案】
人文学部 表現学科 3年
松本 莉奈さん

人文学部表現学科の白寄ゼミでは、地域社会との連携をはじめ、大学内外でさまざまな活動を行っています。ポスター制作、影アナウンス、演劇など学生の「興味」を起点に、ことばの力やリーダーシップを活かした取り組みの一端を紹介しています。

板橋区「ふれあいステージ」で影アナに挑戦



人文学部 表現学科 3年
石川 莉乃さん

人文学部 表現学科 3年
流石 李乃さん

「流石さん」当日までに担当の方と打ち合わせを重ねました。出場団体名を言い間違えないよう確認を重ねるなど、社会に出て役立つ経験だと感じました。

「石川さん」影アナウンスは初めての挑戦でした。声だけお客様を動かしたり、安心感を持つてもらったりと、制限された表現を体験することができました。

オリジナル演劇の発表



脚本から演出、舞台美術、出演まで、全てをゼミ生の有志で手がけた演劇「しあわせ」。役者をしている卒業生からも高評価！保護者の来場もあり良い機会となりました。

ゼミ生の短編小説をまとめた 短編集



小説執筆に興味のあるゼミ生が制作した短編小説を1冊の短編集にまとめました。

「NPO法人よいおやさい」との プロジェクト



NPO法人よいおやさいがキッチンカーで販売する商品の拡販を目的に、デザイン・広報チームとメニュー開発チームに分かれて企画立案。表現方法が人気や売り上げの数字に表れるのが、このプロジェクトの面白さです。

「白寄ゼミナール」 学生の興味を起点に、 コミュニケーションを促進する



上演会の様子



修了式で受講者のみなさんと



受講者オリジナル作品

SHUKUTOKU TOPICS

【地域共生センター】 淑徳大学履修証明プログラム パネルシアター実践講座

2024年4月より、淑徳大学履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」を開講いたしました。
パネルシアターとは、起毛性のある布（パネル布）を貼ったパネル板に、ざらつきのある不織布（Pペーパー）で作った絵を貼り付けたり、外したりしながら、物語や歌遊び、ゲームなどを展開していく表現方法です。この「パネルシアター実践講座」では、パネルシアター発祥の学園として知られる本学ならではの特色を活かし、社会人の方々を対象に、パネルシアターの指導者を育成するプログラムを提供しています。

今年度は、日本国内はもちろん、海外在住の方々からも申し込みがあり、13名もの受講者が集まりました。受講者は、パネルシアターの歴史や創案者である古宇田亮順氏の作品世界など、パネルシアターの知識や技術を習得し、個性溢れるオリジナル作品の制作、上演会での発表、作品集の刊行を経て、無事、13名の受講者全員が修了を果たしました。

2025年度からは、新たに1つのコースを新設し、2コース体制でパネルシアターの学びの機会も内容も拡大し、さらにパワーアップしていく予定です。

【地域共生センター】 地域の居場所『まえのふれあい子ども食堂』プロジェクト

2023年夏、板橋区前野町に、まえのふれあい子ども食堂がオープンしました。前野町の住民が立ち上げた地域団体「まえのふれあいのつ子の会」の皆様と共に、本学の学生たちもスタッフとして活動しています。場所は東京キャンパス近くの板橋区立前野ホール。「食・学・遊」のコンセプトのもと、月1回のペースで開催中です。

【食べる部屋】調理師の資格を持つ地域の方に教わりながら、食事の準備を行います。地元の方々から提供いただいた食材に感謝したり、子どもの好き嫌いのある食材を使ったりと、食育を学ぶ機会にもなっています。

【学ぶ部屋・静かに遊ぶ部屋】学生たちと一緒に漢字や計算ドリルなどの宿題に取り組み、熱心に本を読む人、とまどまです。最近はお絵描きや折り紙も人気で、保護者の方にも好評です。

【遊ぶ部屋】学生や地域の方が企画した工作やゲームを楽しんだり、おもちゃやカードゲームで学生と対戦したり、思い思いに遊びます。子どもたちが大学生と遊んでいる間は、保護者の方同士で話したり、保護者の方と大学生がお話したり、保護者の方にとってもくつろげる場となっているようです。



子ども食堂プロジェクトのボランティア学生たち

＜2024年度の開催例＞

7月メニュー

- チリコンカン
- フルーツポンチ

〈学生企画〉短冊風のしおりづくり

10月メニュー

- 麻婆豆腐
- ひじきと水菜のサラダ
- 羊羹とフルーツ

〈学生企画〉ハロウィン企画

（箱を手作りしてお菓子をもらいに行こう！）



＜開催お知らせポスター＞

子ども食堂のお知らせポスターは学生が作成しています。前野町の掲示板や近隣の小学校でも配布していただいています。



スタッフ全員で反省会
意見交換を行います



節分企画「おにのおめんをつくろう！」
素敵なおめんができました



この日のデザートは
フルーツヨーグルト
食べられる量聞きながら
盛り付けます

学祖・長谷川良信先生の足跡

一写真から広がる長谷川良信先生の世界一



写真について

巣鴨女子商業学校の集合写真。中央に良信先生。隣に渡辺海旭先生。2列目向かって右から2人目に長谷川リツ子先生。1932年3月撮影と考えられます。

1 長谷川良信先生の恩師

私（長谷川良信）は、弱冠20歳の時、恩師渡辺海旭先生の御指導のもとに、仏者としての行持を、社会事業と定めまして、今年で55年になります。その半ば頃から、宗教と社会事業と教育の三位一体を確信するようになり、これを一丸とすることに全身全霊をつくしております。

これは、昭和40年（1965）9月17日、マハヤナ学園の本館新築落成式辞の中で良信先生が述べた内容です。

2 渡辺海旭の略歴

渡辺海旭は現在の台東区浅草で明治5年（1872）1月15日に生まれ、昭和8年（1933）1月26日に遷化、61歳の生涯でした。号は壺月。

明治18年（1885）得度し、1898年から深川西光寺住職をつとめています。彼は仏教学者であり、社会事業家でもありました。渡辺はドイツ（シュトラスブルク大学（カイザー・ウィルヘルム第二世大学、現在はフランス領））に1900年から10年間留学し、帰国後の仏教社会事業を生み出す原動力となりました。

3 教育の進展へ

帰国直後、宗教大学（現在の大正大学）の教授となった海旭先生に良信先生は出会い、強く影響を受けました。西光寺で育てられた書生や学生は常に10人を下らなかったといいますが、大正元年（1912）良信先生22歳の時、宗教大学本科生に進み、書生として西光寺に入門しています。海旭先生は

4 海旭先生と「社会事業」

社会からの援助を必要とする人に対し、公私の団体が行う生活改善や保護・教化の組織的な事業を社会事業といいます。海旭先生は明治45年（1912）、社会事業の研究調査と事業の発展を目的とした仏教徒社会事業研究会を設立しています。日本で最初に「社会事業」を冠した団体で、海旭先生は社会事業という言葉が最初に公的に使ったとされる人物でもあります。研究会の活動は、その後の宗教大学に置かれた、日本初の社会事業研究室設立への布石とも捉えられています。

良信先生は学生時代に当時最先端を行く研究者でもあった海旭先生を慕い、自身の人生の方向を確立していきました。

参考文献

長谷川匡俊『長谷川良信の生涯』2020年刊
長谷川匡俊『長谷川良信と近代社会事業の先覚者たち』2020年刊

淑徳大学アーカイブズ（千葉キャンパス1号館3F）▶
（作成 淑徳大学アーカイブズ）



高大連携事業

「保育実践講座」を開催しました

淑徳大学は、大学進学後の「学び」につながる高校生の「学び」を創り上げていくことを目的として、2025年3月現在14の高等学校と高大連携に関する協定を結んでいます。
その事業の一環として、10月27日(日)に「保育実践講座」を開催し、埼玉県立鴻巣女子高等学校保育科のみなさんにご参加いただきました。

■講座内容

- ◎ パネルシアター上演
- ◎ 作品制作(パネルシアター)
- ◎ 保育検定に活かせる読み聞かせの魅力とコツ
- ◎ 実践体験(キラキラ光る壁面づくり)
- ◎ みんなでじじの手話ソング
- ◎ 本学学生の実践動画紹介

■講師

教育学部 松家まきこ 准教授



■参加者の声(一部抜粋)

- パネルシアターは、自分が予想していなかった仕掛けがたくさん出てきてワクワクでいっぱいでした。
- 絵本の持ち方など教えてもらい、学校でも活かしていきたいと思いました。
- 絵本も作家さんの伝えたいことを読み取って、子どもに伝えられるようになりたいと思いました。
- 自分で実際にやってみて、想像が具体的にかなりとても勉強になりました。
- 今後役に立つことばかりで、新しい発見がたくさんありました。
- 高校の保育の授業や保育実習などでも活かしていきたいです。

大学の学びに触れるとともに、保育・幼児教育分野への興味・関心を高める機会としていただくことができました。鴻巣女子高等学校保育科のみなさん、ありがとうございました。また次回の講座でお会いしましょう。

千葉キャンパス

保育・教職実践

「仲間と共に」から「子どもと共に」

4年次の後学期に開講される「保育・教職実践演習」は「学びの軌跡の集大成」として位置付けられる科目です。この科目を通して学生は、保育者に必要な自己課題を見出し、保育者としての生活が円滑にスタートできるような資質能力を補います。幼稚園課程・保育士課程では毎年、その試みとして人形劇制作に取り組みます。今年度も「人形劇団ひばりあむ」代表、永野むつみ氏を迎え、取り組みの成果を観ていただきました。子ども視点から物語を思考し表現すること、自分の体の動きを意識すること、上演者の息を合わせることなど、人形劇の演じ方についてのご助言をいただきました。保育の実践にも通ずる大切な視点です。



人形劇制作の様子

永野氏からは貴重なご助言を沢山いただきました



人形劇上演を終えて

看護栄養学部栄養学科

ゼミ生×千葉薬品×日本食研コラボレーション

卒業研究としてお弁当メニューを考案しました



成人が1日に必要とする栄養素を考慮してメニューを開発しました

本学看護栄養学部栄養学科の海老原泰代准教授のゼミ生が、千葉薬品、日本食研とコラボレーションし、卒業研究としてお弁当メニューを考案しました。

この卒業研究では、手軽に野菜摂取や減塩ができる「自然に健康になれる食事」メニューを開発することで、皆様が地域の健康づくりに貢献することを目的としています。

第1弾として「ラタトゥイユで食べる！チキンステーキ弁当」を、第2弾として「和風あんこで食べる！豆腐ハンバーグ弁当」を各2週間コラボ弁当としてスーパーマーケットヤック

ス四街道店にて販売しました。どちらのお弁当も、成人が1日に必要な栄養素を考慮して、ゼミ生たちが開発したメニューとなっております。

コラボ弁当は予想を上回る販売数で、お店のスタッフや地域の方に好評でした。学生たちは健康増進を目的としながら、対象者に手にとっていただける商品について考え、実践で学ぶことができました。学ぶ機会を提供いただき、卒業研究にご協力くださいました企業や地域の皆様に感謝いたします。



店頭と並んだ学生企画のお弁当

経営学部観光経営学科2年生

企業コラボ 韓国フェアメニュー

タイムズスパ・レスタ韓国フェアメニューを開発しました

観光マーケティング・フードサービスマーケティングを専門とする金世煥(キムセファン)教授の研究室が、東京都豊島区東池袋(池袋サンシャインシティ前)にあるスパ施設「タイムズスパ・レスタ」とのコラボレーションで、「韓国フェア」期間限定メニュー開発を行いました。

施設内レストラン「ザ・キッチン」のシェフと学生たちが自由な発想で意見を出し合いながら生まれた新メニュー「メキシカンサルサピピンパル韓国×メキシコフュージョンセット」は、2024年11月1日(金)〜12月1日(日)に提供されました。

提案を受け、シェフに数種類のメニューを考案いただきました。学生たちによる試食が行われ、「サルサの辛さが韓国料理のイメージとも連動する」という意見から、メキシコ料理の要素を加えたメニューに決定。さらに学生たちの声を反映いただき、韓国フェア限定オリジナルモクテル(ノンアルコールカクテル)をセットにして提供されることとなりました。



今回の企画にご協力いただきました「タイムズスパ・レスタ」様、利用者の皆様、応援いただいた皆様、誠にありがとうございました。



学生ならではの自由な発想でメニューを考案

千葉第二キャンパス

今年も看護学科就職個別相談会を行いました！

2024年12月21日(土)に千葉第二キャンパスにて、看護学科3年生(88名)を対象に毎年恒例の就職個別相談会を行いました。実習や就職でお世話になっている病院など、21施設、57名の職員の方々にお越しいただきました。本学卒業生も施設側の職員として参加し、実際の業務、職員寮や福利厚生など、リアルなお話をしていただきました。終始和やかな雰囲気、学生たちは将来の就職先候補のお話を真剣に聞きました。千葉県の保健医療を支える看護職として、本学卒業後も活躍していくことを期待しております。



真剣に説明を聞く学生たち

第3回翔蓮祭が開催されました

2024年10月26日(土)に、看護栄養学部(千葉第二キャンパス)の学園祭である翔蓮祭が開催されました。地域の方々に看護栄養学部ならではの企画を楽しんで頂こうという目的で始まった翔蓮祭、今回で3回目を迎えました。コロナ禍で制限されていた食品提供も、ようやく規模を広げて実施できるようになりました。学部・学科企画では、体組成や骨密度測定できる健康フェスタ、看護学科による手浴などの健康にかかわるイベントに加え、縁日や科学実験コーナを設け、子どもから大人まで楽しんで頂けました。また、お笑いトークライブでは安田大サーカス・クロちゃんワンワンニャンニャン・菊地さんをお招きし、学園祭らしい盛り上がった雰囲気を演出してもらいました。千葉第二キャンパスの恒例行事として定着してきている翔蓮祭、4回目となる2025年度は新たな企画(秘策?)で盛り上げていきたいと思ひます。

健康フェスタでの骨密度測定の様子
私の骨は若い?それとも...と皆さん興味津々です

千葉キャンパス

龍澤祭DRAGON FESTA(D・F)開催を紡ぐ

千葉キャンパスの学園祭である龍澤祭が、2024年10月26日(土)・27日(日)に『紡(つむぎ)』をテーマに開催されました。「ドラゴンフェスタ」と呼ばれ親しまれている龍澤祭も今回で58回目。2日間で2400名を超える来場者が千葉キャンパスを訪れ、盛況となりました。実行委員会を中心に準備・運営され、オープニングを飾った近隣の大巖寺幼稚園の園児たちによる中庭でのマーチング演奏、大勢のOB・OGが駆け付けたホームカミングデイ講演会、在学生たちによる研究発表、笑いと音楽とダンスのパフォーマンスなどの様々な企画で盛り上がりしました。実行委員をはじめとした学生たちやご来場いただいた皆様の素敵な笑顔に溢れ、無事に成功裏に終わりました。地域の味覚をふんだんに使った模擬店販売や、近隣の法人からの出店もあり、「美味しい」祭りにもなりました。

「昔、龍が住む」と伝承されてきた龍が澤の沼地に由来する本学の学園祭。2025年は、10月25日(土)・26日(日)に開催する予定です。ぜひ、足をお運びください。

学生食堂を紹介します

千葉キャンパスの学生食堂は、11号館1階と10号館地下1階の2か所にあり、学生たちが気軽に立ち寄れる場所です。11号館のメイン食堂では、定食2種類、カレー、ラーメン、ミニ弁当、おにぎり、ホットスナックなどのメニューを取り揃えています。また、定期的にイベントメニューを導入し、食生活を彩ります。食堂内では音楽が流れ、リラックスした雰囲気の中で、あたたかい食事を楽しむことができます。

学生食堂を切り盛りしているのは、チーフと呼ばれる秋山広美シェフです。「料理を作ることも、作った料理で人を喜ばせることも好きだから」と、約8年前、千葉県内で調理師免許を取得しました。現在、本学で週替わりメニューの作成や料理の品質管理、キッチン全体の運営を担っています。メニューに多くないスイーツ作りに関心を注いでいる一面もあります。千葉市保健所の規定に従って食品の安全と衛生を管理する責任を担い、責任感と多才さで、これからも安心・安全で美味しい食事を提供し続けます。ぜひ、11号館と10号館の食堂に足を運んでみてください。緑豊かなキャンパスで、あたたかく、美味しいランチのひとつときを！

大学ホームページでは、
学生食堂の週替わり
メニューを紹介しています。



銀座スエヒロカフェテリアサービス株式会社 提供

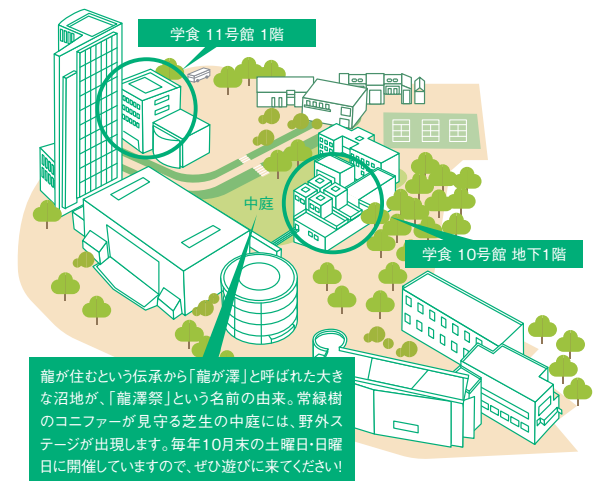
みなさんが
喜ぶ料理を
作ります！

秋山広美シェフ

(撮影:今野智子)



- ① 龍澤祭の賑わい
- ② 宮城県石巻市雄勝から産地直送したホタテは、学生たちの手で網焼きに！復興支援として提供している雄勝自慢のメニューです
- ③ 「龍が澤と呼ばれていたから、龍澤祭！」
千葉キャンパス中庭ステージで由来が明らかに



龍が住むという伝承から「龍が澤」と呼ばれた大きな沼地が、「龍澤祭」という名前の由来。常緑樹のコンファーマーが見守る芝生の中庭には、野外ステージが出現します。毎年10月末の土曜日・日曜日に開催していますので、ぜひ遊びに来てください！

第3回「淑徳大学音楽祭」を開催

11月23日(土)、埼玉県三芳町中央公民館音楽ホールで、「淑徳大学音楽祭」を開催しました。音楽活動が制限されたコロナ禍の後、2023年3月に初めて開催し、第3回を迎えました。今回のテーマは「見つけよう音楽の魅力」です。

SMC(Shukutoku Music Club)=吹奏楽サークルとグリークラブ=合唱サークルの二つのサークルが主催するもので、その他の有志学生も協力して、出演とMCから会場設営まであたります。全15曲の演奏があり、出演者、運営者、聴衆がともに、2時間ほどを楽しく過ごしました。

全3部構成で、第1部はSMCの吹奏楽、第2部は有志学生によるソロ・アンサンブル、第3部はグリークラブの合唱、アンコールでは吹奏楽と合唱と一緒に「翼をください」を演奏しました。

実習や課題で忙しい学生が集まって練習することは困難で、全員揃ったのが本番のみ、という状況でしたが、舞台上思いをのせて、緊張の中にも真剣に演奏したり歌ったりする学生の姿がありました。出演したどの学生からも、音楽をつくる喜びがあふれているのが印象的でした。

これからも、長く続けられる音楽祭、仲間や三芳町の人たちに愛される音楽祭を目指していきます。



緊張しながらも楽しく演奏しています



吹奏楽と合唱のコラボレーション―「翼をください」を演奏

地域理解実習(三芳町について)

〈地域創生学部〉

地域理解実習Ⅳでは、1年生が4つのコースに分かれ、それぞれの興味に合わせた学習を行っています。森屋先生と佐藤先生が担当する三芳町コースでは、三芳町の産業や企業の歴史の変遷や発展過程を理解し、地域と産業や企業の関わりについて理解を深めるため、12月13日(金)に旧島田家住宅を訪問しました。

この実習では、世界農業遺産にも認定された落ち葉堆肥農法について、地割を見学し、三芳町文化財保護課の担当者の方から講義をいただきながら、農業文化について理解を深めました。

三芳町指定文化財である旧島田家住宅では、歴史的な建造物を見学し、当時の生活様式や農具について探りました。また、三芳町の地域特性に合わせて製作された山熊手をスケッチし、形状や使い勝手などについて考察することで、失われつつある農具の伝承についても考えることができました。



山熊手をスケッチする様子



地割を見学する様子



旧島田家住宅を見学する様子

東京キャンパスに新たな学びの場が誕生！ーフルリノベーションで生まれ変わるー

東京キャンパス3号館が大きく進化しました！

1990年に竣工して以来、長年にわたり淑徳生を育んできた3号館が、このたびフルリノベーションを経て新たな姿で生まれ変わりました。今回のリノベーションは、老朽化した施設の改善だけでなく、未来を見据えた学びの場を提供することを目的としています。

▶新しい校舎の特徴

1.明るく開放的な学びの空間

校舎内は自然光を取り入れる設計が施され、教室や廊下が明るく開放的な雰囲気に。これにより、学生がよりリラックスして学べる環境が整いました。

2.新たな研究室を導入

「人間科学科共同研究ルーム(通称ニンニンルーム)」にはオシャレ

なデスクなどのスペースを中心に、PC・関連書籍・測定器具・心理検査などがあり、学生が学習を深めたりグループワークなどに利用したりできます。

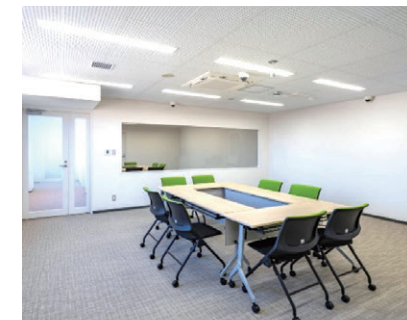
「行動観察室(モニタールーム)」では、「行動観察実験室(アクティビティールーム)」の様子を、one-wayミラーや天井の5か所のカメラを通して観察できます。

「心理学実験室」は個人ごとのブースに区切ることができ、個人作業に分かれながら行う集団の実験も実施できるように設計されています。

その他、アリーナ・体育室もあり、スポーツ関連の器具もそろっています。人間科学科の心理・福祉・教育・健康といった4領域の学びを充実させる造りに生まれ変わりました。



人間科学科共同研究ルーム(ニンニンルーム)



行動観察実験室(アクティビティールーム)



3階教室 3-301教室

新たな学びの場、開放的なラーニングコモンズが誕生

経営学部の東京キャンパスへの移転、新たな学科の設置に伴い、開放的で快適な空間が広がる学びと交流の場として1号館ラーニングコモンズが誕生しました！

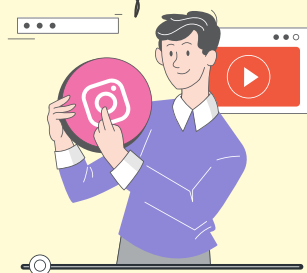
自由に利用できる貸出ノートPCが設置され、学生たちはいつでも調べ物や課題に取り組むことができます。また、大きなモニターも備えられており、プレゼンテーションやグループディスカッションにも活用可能です。明るい雰囲気と充実した設備が整ったこのラーニングコモンズは、学びの可能性を広げる新しい拠点として、多くの学生にとって魅力的な場所となることを期待しています！



1号館ラーニングコモンズ

淑徳大学学生広報 しゅくとクルー

2023年に発足した有志の学生団体です。
現在は公式InstagramやYouTubeショート動画を投稿し、
淑徳広報を盛り上げています!是非ご覧ください。



公式Instagram



公式YouTube

発行日 | 2025年4月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
Tel 043-265-7331

千葉第二キャンパス

看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

埼玉キャンパス

教育学部 地域創生学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

東京キャンパス

経営学部 人文学部 留学生別科
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631



大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記より読者アンケートへのご協力をお願い致します。

<https://forms.gle/Z2Veah6UMpUnN4J69>



公式HP



公式Instagram



公式YouTube



公式X



アドミッションセンター
公式X



公式Facebook



淑徳大学
共に進む これまでも これからも



淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け、積極的に取り組んでいます。

その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイレージに配慮したライズインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。